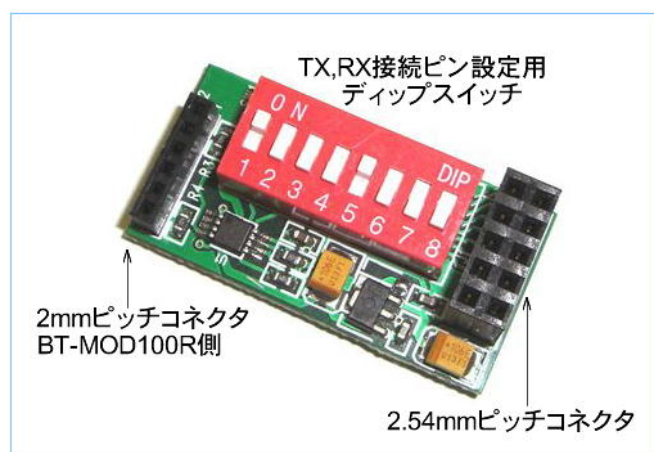
型番:80FG970　　　　　　　　　　　　REV.1.00

BT-MOD100R用拡張アダプタ基板

取扱説明書
お使いになる前にこの説明書をよくお読みの上正しくお使いください。

モジュール本体

製品の概要

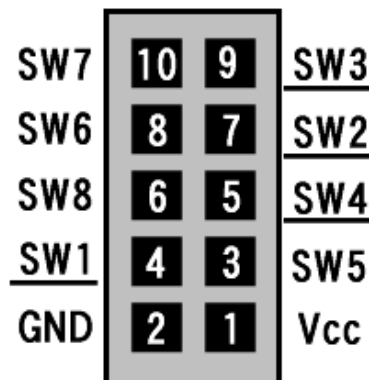
当方で販売中の簡単Bluetooth-UARTモジュール(型式BT-MOD100R、以下型式で記載)の2mmピッチコネクタに直接取り付けて、BT-MOD100Rが使用しやすいように各種電源電圧並びにロジック信号の電圧レベルを調整する拡張用アダプタです。
+5Vの電源電圧でBT-MOD100R用の+3.0Vの電源を作り供給します。BT-MOD100Rのロジック信号の電圧レベルは3Vp-pですので、5V系のロジック回路とはそのまま直結できませんが、本アダプタによって5V系信号を3V系の信号レベルに電圧調整できます。

ロジック信号の電圧レベル調整はTX及びRXの2線のみでCTS線・RTS線はオープン(何も接続されていない)になっています。お客様で電源回路及び電圧調整のインターフェイス回路をお作りにならない場合にお使いください。

また使いやすい10ピンの2.54mmピッチコネクタに変換されますので、ユニバーサル基板等からのアクセスが簡単になります。

ピンアサインとディップスイッチ

UARTのRXピン及びTXピンは、基板上のディップスイッチによって、2.54mmピッチの10ピンコネクタのどのピンに割り当てるかを設定できます。
ディップスイッチには、1～8までの番号が割り振ってあり(スイッチ表面に印刷されています)、1～4までがRXピン、5～8までがTXピンの設定ができるようになっています。
スイッチのONにすることで、RXピン・TXピンが下記の端子と接続されます。

SW7	10	9	<u>SW3</u>
SW6	8	7	<u>SW2</u>
SW8	6	5	<u>SW4</u>
<u>SW1</u>	4	3	SW5
GND	2	1	Vcc

※図は基板上から見た配置です。VccとGNDの位置は基板裏面にシルク印刷がありますので位置関係をよくご確認ください。

※アンダーバーのあるスイッチ名はRXピン・アンダーバーのないスイッチ名はTXピンをそれぞれ示しています。

Vccには+5.0Vを電源として印加します。ロジック信号のピンには、3.3V～5.0Vの電圧を印加できます。

主な仕様

電源電圧:	DC5V（要安定化）
ロジック電圧レベル:	0V － 3.3V～5.0Vまで
動作環境:	0℃～70℃ （動作保証範囲）
生産国:	中国

※本製品はBT-MOD100R用ですので、その他の機器に対してや、別の用途でのご使用はしないでください。

※本製品のUARTは2線式であり、CTR・RTSのハードウエアフロー制御用のピンは使用できません。

microtechnica
マイクロテクニカ
〒158-0094　東京都世田谷区玉川1-3-10
TEL: 03-3700-3535　FAX: 03-3700-3548